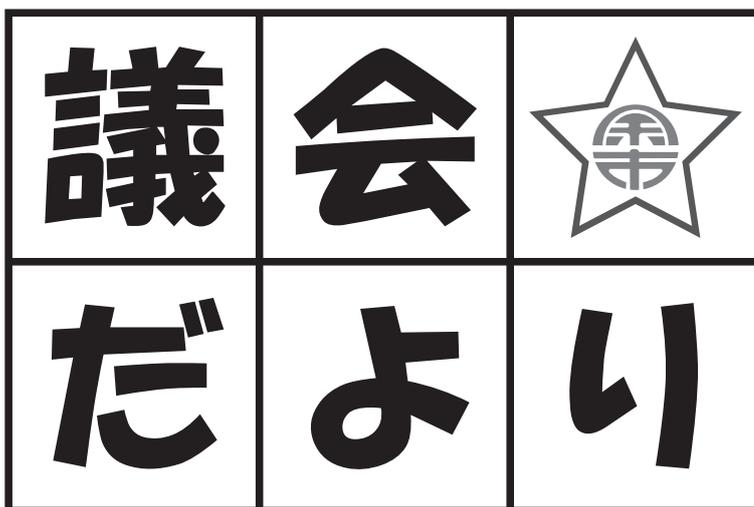


よいち町

2022.12
No.205



キッズルームあつぷるでは、定期的に親子の催しが開催されています。この日はハロウィンの衣装づくりが行われました。

第3回定例会・第3回臨時会の審議結果

○主な審議結果 P2~4

- 令和3年度各会計決算を特別委員会に付託
- 副町長に渡邊郁尚氏を選任同意
- 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する要望意見書など4件の意見書を可決

○常任委員会の動き P5~6

○一般質問 P7~9

- 6議員が町政全般について8項目を質問

審 議 内 容

令和4年第3回定例会 第3回臨時会

令和4年9月26日～28日に開催の第3回定例会での審議結果、11月4日開催の第3回臨時会の審議結果についてお知らせいたします。

議員補欠選挙

8月28日執行の議会議員補欠選挙において、伊藤正明議員が当選されました。

18番 伊藤正明(73)

当選1回・明政会
産業建設常任委員会所属



□議席の指定及び一部変更について

議員補欠選挙による議席の指定と議席の一部を変更しました。

18番 伊藤正明 議員

(変更前) ↓ (変更後)

8番 ↓ 16番

白川 栄美子 議員

9番 ↓ 17番

寺田 進 議員

人事

案件

16番 ↓ 7番 山本正行 議員
17番 ↓ 8番 土屋美奈子 議員
18番 ↓ 9番 岸本好且 議員

□余市町副町長の選任につき同意を求めました。

副町長に渡邊郁尚氏を選任することに同意しました。



渡 邊 郁 尚 氏

▽略歴

経済部長、建設水道部
水道課長などを歴任

補正

予算

△減額補正

一般会計

□令和4年度一般会計補正予算(第2号)

総額2億6188万円を追加

◆主な補正内容

○退職手当組合清算納付金 1129万円

○寄附に伴う各種基金積立金 1億1380万円

○余市協会病院バス路線運行維持対策補助金 500万円

○地域活性化起業人負担金 560万円

○奨学金返還支援事業助成金 348万円

○子育て世帯生活支援特別給付金 360万円

○周産期医療支援事業負担金 339万円

○新型コロナウイルススワクチン予防接種委託料 1950万円

○受診予約受付・ワクチン管理委託料 1568万円

○農業次世代人材投資資金交付金 2997万円

○橋りよう補修調査設計委託料 1800万円

○旭橋補修工事 △1200万円

○橋りよう点検負担金 △600万円

○各公園遊具更新工事 740万円

□令和4年度一般会計補正予算(第3号)
総額289万円を追加

◆主な補正内容

○委任弁護士委託料 289万円

□令和4年度一般会計補正予算(第4号)
総額2億7014万円を追加

◆主な補正内容

○新型コロナウイルス対策事業・水道事業会計負担金 3790万円

審 議 内 容

・ 社会福祉施設等物価高騰対策助成金
3529万円

・ 学校給食費保護者負担軽減助成金
260万円

・ 修学旅行等保護者負担軽減助成金
209万円

・ 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金
1億8500万円

特別会計

□ 令和4年度介護保険特別会計
計補正予算(第2号)
総額1513万円を追加

◆主な補正内容

・ 令和3年度の負担金等の精算に伴う国、北海道への返還金によるもの

□ 令和4年度水道事業会計補正
予算(第2号)

・ 収益的支出で70万円を追加

◆主な補正内容

・ 水道料金減免に伴うシステム改修によるもの

条 例 案

□ 余市町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案

□ 余市町手数料徴収条例の一部を改正する条例案

関係法令の改正に伴い、所要の改正を行いました。

□ 余市町公共下水道設置条例の一部を改正する条例案

余市町公共下水道全体計画の見直しに伴い、面積及び計画人口の改正を行いました。

決 算

認 定

□ 令和3年度水道事業会計決算
認定について

第3回定例会に提出された令和3年度水道事業会計の決算については、令和3年度余市町水道事業会計決算特別委員会

(彫谷吉英委員長・山本正行副委員長)を設置し、審査を行っています。

□ 令和3年度一般会計決算認定
について

□ 令和3年度介護保険特別会計
決算認定について

□ 令和3年度国民健康保険特別
会計決算認定について

□ 令和3年度後期高齢者医療特
別会計決算認定について

□ 令和3年度公共下水道特別会
計決算認定について

第3回臨時会に提出された令和3年度の一般会計ほか4特別会計の決算については、令和3年度余市町各会計決算特別委員会(岸本好且委員長・寺田進副委員長)を設置し、審査を行っています。

そ の 他 の 案 件

□ 余市町過疎地域持続的発展市
町村計画の変更について

本年度からの計画期間である第5次余市町総合計画に伴う文言の修正と一般廃棄物最終処分場設備更新事業の計画への追加について提案され、可決しました。

□ 令和3年度余市町水道事業会
計未処分利益剰余金の処分に
ついて

令和3年度水道事業会計未処分利益剰余金について、9540万2228円のうち189万2000円を減債積立金に積立て、剰余を繰り越すことについて提案され、可決しました。

□ 調停申立てについて

余市町営斎場建替事業において令和元年5月20日に地滑りが発生し工事が中断し、地滑りの発生原因について、設計会社との協議で双方の見解に相違があることから、地方自治法第96条第1項第12号の規定に基づき、調停の申立てについて提案され、可決しました。

議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か

《次の定例会は12月中旬に開催の予定です》

◆本会議については、役場3階の議会事務局で、傍聴人受付簿に住所・氏名を記入するだけで傍聴できます。傍聴定員は38人となっており、会議当日の先着順となっています。

新型コロナウイルス感染防止のため、手指の消毒やマスクの使用をお願いしています。

※詳しい日程などは、議会ホームページをご覧ください。議会事務局 (Tel 21-2132) へお問い合わせください。

審 議 内 容

議案に対する各議員の賛否一覧

地方自治法第96条で定める議決事件について、各議員の賛否結果が分かれた案件（欠席・退席含む）を掲載しています。

第3回定例会 議案に対する各議員の賛否一覧表

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席

| 件名 | 審議結果 | 明 政 会 | | | | | | | 日本共産党議員団 | | よいち未来 | | 公明党 | | 自由民主党 | | | |
|---------------------------|------|-------|------|-----|------|------|------|------|----------|-----|-------|------|-------|------|-------|-------|------|-----|
| | | 藤野博三 | 内海博一 | 庄巖龍 | 彫谷吉英 | 茅根英昭 | 近藤徹哉 | 伊藤正明 | 安久莊一郎 | 大物翔 | 中谷栄利 | 山本正行 | 土屋美奈子 | 岸本好且 | 寺田進 | 白川栄美子 | 野呂栄二 | 吉田豊 |
| 令和4年度余市町一般会計補正予算(第2号) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 令和4年度余市町介護保険特別会計補正予算(第2号) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |

第3回臨時会 議案に対する各議員の賛否一覧表

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 令和4年度余市町一般会計補正予算(第4号) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和4年度余市町水道事業会計補正予算(第2号) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※中井寿夫議長は採決には加わりません。

要望意見書の審議結果

第3回定例会で提出のあった意見案についてお知らせします。

| 件名 | 議案の提出者 | 審議結果 | 意見書の提出先 |
|--|------------|------|-----------------------------|
| 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する要望意見書 | 議会運営委員会委員 | 原案可決 | 内閣総理大臣ほか関係大臣 衆議院議長・参議院議長 |
| 女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める要望意見書 | 議会運営委員会委員 | 原案可決 | デジタル大臣ほか関係大臣 |
| 地方の農地の保全と活用のための支援拡充を求める要望意見書 | 議会運営委員会委員 | 原案可決 | 農林水産大臣ほか関係大臣 |
| 義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める要望意見書 | 岸本好且議員ほか2人 | 原案可決 | 内閣総理大臣ほか関係大臣 衆議院議長・参議院議長 |
| 世界平和統一家庭連合(旧統一教会)の霊感商法などによる被害者を救済するとともに、政治との癒着を究明することを求める要望意見書 | 中谷栄利議員ほか1人 | 否 決 | |

※全会派の同意が得られた要望意見書は議会運営委員会の委員が提出者となっています。

常任委員会の動き

閉会中における各常任委員会の活動状況について、主要な調査事項などをお知らせします。各常任委員会の記録は、町立図書館に配置しておりますので、ご利用ください。

総務

文教

町立学校適正規模・適正配置基本計画の策定について調査しました

【第9回】

(令和4年7月29日開催)

○地方公共団体の財政の健全化に関する法律に係る令和3年度余市町財政健全化判断比率の状況について(所管事務)
令和3年度の健全化判断比率(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)について、それぞれの比率、算出根拠等の説明を受け、審議しました。

○余市町公共施設の在り方の検討について(所管事務)

総合計画の実施策で示されていた老朽化する公共施設の計画的な再編や有効活用について客観的な評価を実施し、施設の方針、用途や機能運営の方針を検討した内容について説明を受け、対象となる施設、他の計画との整合性について審議しました。

○北海道新幹線並行在来線対策協議会について(所管事務)

令和4年7月に開催された北海道新幹線並行在来線対策協議会後志ブロック会議の内容について説明を受け、バス転換に関わる今後の方向性などについて審議しました。

【第10回】

(令和4年8月19日開催)

○地域活性化起業人について(報告案件)

町政執行方針で示されている、外部の組織、人材との連携に関する施策の一つとして実施する地域活性化起業人について、三大都市圏に所在する民間企業等の社員を地方公共団体が一定期間受け入れ、そのノウハウや知見を活かし、地域独自の魅力や価値の向上等につながる業務で地域活性化を図る取組について報告がありました。

○公共施設の民間提案制度の活用について(報告案件)

第9回の委員会です示された公共施設の在り方に関わり、利用者数が少なく維持管理費が比較的高額な施設について、民間のノウハウを活用することで地域住民や地域経済への還元が期待さ

れることから民間提案制度により提案を募り、サービスの向上や地域経済の活性化、事業の実現性などによる審査を行い、提案を採用するとなれば事業化に向けた協議を行い、施設の利用促進を図る旨の報告を受けました。

【第11回】

(令和4年9月12日開催)

○余市町立学校適正規模・適正配置基本計画の策定について(所管事務)

今年度策定予定の町立学校適正規模・適正配置基本計画に関わり、公募により選考された余市町立学校適正配置等検討委員会の結果として、計画策定の目的、スケジュール等について説明がなされ、当該委員の選考に係る経過や町の他の計画との関わりなどについて審議しました。

○旧余市福原漁場防災設備改修事業について(報告案件)

令和3年度から令和4年度に実施している当該事業の機械設備の納品に時間を要することとなり、令和5年度まで変更された事業期間について報告を受けました。

民生

環境

町営斎場建替事業について審議しました

【第9回】

(令和4年8月8日開催)

○小樽・北しりべし消費者センター事業実績について(所管事務)

令和3年度の住民の消費生活に関する相談について、6市町村全体で806件、うち余市町は、40件の相談で主に商品の契約・販売に関する相談が多いこと、年代では60代の方からの相談が多いとの説明を受け、審議しました。

○町営斎場建替事業について(所管事務)

第1回適地検討委員会の開催結果について、第1回目は委員長及び副委員長の選出、協議事項について説明され、委員長となった札幌市立大学の羽深名誉教授からの講話、また、意見交換が行われた旨の説明を受け、審議しました。

○新型コロナウイルス感染症対策について（所管事務）

感染状況等について説明を受け、審議をしました。家庭内感染などによる増加傾向から自宅療養の支援について万全の体制を整えるよう求めました。

○周産期医療に関する財政支援について（報告案件）

周産期医療の安定的な維持を図るために、引き続き小樽協会の病院に対し北後志6市町村が財政支援をすることの合意がなされた旨の報告を受けました。

【第10回】

（令和4年9月8日開催）

○余市町高齢者ニーズ調査の実施について（所管事務）

令和6年度を初年度とする第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の参考と介護予防事業の充実のために行う高齢者ニーズ調査について説明を受け、審議しました。

○町営斎場建替事業について（所管事務）

第2回適地検討委員会の開催結果について、候補地の視察と意見交換が行われた旨の説明を受け、審議しました。

○新型コロナウイルス感染症対策について（所管事務）

感染予防対策として広報折込チラシ等の実施、またオミクロン株に対応したワクチン接種は10月中旬を予定に開始する旨の説明を受け、審議しました。

○子育て世代包括支援事業について（所管事務）

10月を開設時期に、子育てに関する相談窓口を子育て・健康推進課に設置し、妊産婦から乳幼児並びに保護者を対象に支援提供を行う旨の説明を受け、審議しました。

○幼児健診における視覚検査について（報告案件）

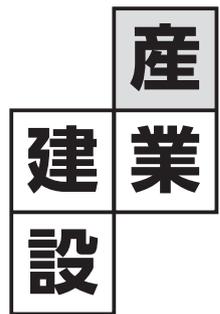
幼児期における目の異常を早期に発見する屈折検査機器を導入する旨の報告を受けました

【第11回】

（令和4年9月26日開催）

○調停申立てについて（報告案件）

町営斎場建替事業建設工事が切土工により地滑りで中断した問題において、設計会社と見解に相違があることから法的機関で協議するため調停申立てをする旨の報告を受けました。



道の駅再編整備について調査を行いました

【第9回産業建設常任委員会】

（令和4年7月25日開催）

○余市町観光振興計画の策定について（所管事務）

令和5年度から5年間を計画期間とする次期計画について、策定スケジュール等の説明を受け、審議しました。

○創業支援事業計画について（所管事務）

昨年度末までが計画期間であった本計画について、国に計画延長の申請を行い、認められた旨の説明を受け、審議しました。

○令和3年度指定管理者事業報告書について（報告案件）

経済部・建設水道部所管の指定管理施設に関わり、各指定管理者提出の事業報告書について、それぞれ報告を受けました。

【第10回産業建設常任委員会】

（令和4年9月2日開催）

○農作物の作況について（所管事務）

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から例年の現地調査は中止し、資料による調査を行い、調査予定であった圃場の経営概要、さらに北後志地域の主要作物の作況について説明を受け、審議しました。

○道の駅再編整備について（所管事務）

新たな道の駅実現に向け民間ノウハウを取り入れ、構想の具体化を図るとし、そのスケジュールについて説明を受け、その後、民間提案の導入手法などについて各委員から活発な質疑が行われ、審議しました。

○余市町公共下水道事業全体計画の見直しについて（所管事務）

計画期間終了に伴い見直しを行い、計画人口は、推移予測に基づき、計画面積は、将来市街化を想定した用途区域外の一部処理区域で、現在も農地として利用されるなど、今後も市街化が薄い地域について、それぞれ縮小した旨の説明を受け、審議しました。

○友好交流協定の締結について（報告案件）

世界的に有名なウイスキー生産地である台湾の地方自治体の宜蘭県員山郷との友好交流協定を結ぶべく、協議を進めている旨の報告を受けました。

○観光客受入態勢整備事業について（報告案件）

観光客受入態勢の整備、ワイン産地としてのブランド力向上のため、リーデル社製の余市口ゴ入りグラスを制作し、希望する町内飲食店に、その導入を支援する旨の報告を受けました。

（他の審議案件）

○余市町観光大使について（報告案件）

○第38回味覚の祭典について（報告案件）

○町道の通行止めについて（報告案件）

○余市町手数料徴収条例の一部改正について（報告案件）

○余市町立地適正化計画策定について（報告案件）

○余市町都市計画マスタープラン策定について（報告案件）

○道営住宅（第二団地）整備状況について（報告案件）

○令和3年度余市町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について（報告案件）

一 般 質 問

第3回定例会での一般質問は、6人の議員から8件の町政全般に対する質問がありました。

一般質問は、一問一答方式により、質問、答弁を合わせ制限時間45分の範囲内で行い、議会だよりに掲載している内容の要約は質問した議員みずからが要約し、その原文を掲載しています。

大物 翔議員
(日本共産党議員団)

子どもの医療費助成 対象拡大について

質問 大物議員 子どもの医療費の窓口負担をなくし、対象年齢を高校卒業時まで拡大させることは重要で、本来は医療費、特に子育て期間における負担は可能な限り低減、無償化することが望ましいと考えるが、対象年齢拡大や窓口負担軽減に向けた考え方を伺いたい。

答弁 齊藤町長 余市町をきちんと次世代につないでいくためには未来への投資として子育ての充実が必要であると認識しており、直接、間接的に様々な子育て支援策を展開していますが、今後も子育て支援の充実を図るべくご指摘の医療助成制度拡大についても既存の制度との兼ね合いの中での影響を検証しつつ、既に拡大に向けた可能性を探るよう指示を出しています。

質問 大物議員 小学校から高校卒業時までを無償化した場合の追加費用について伺いたい。

答弁 齊藤町長 約1,250

万円と推計しています。

質問 大物議員 国立社会保障・人口問題研究所が50年くらい前から出産、子育てに関する調査を続けているが、夫婦の理想とする子供の数に実際生まれてくる子供の数が届いていないのはあまり変わっておらず、理由は、子育てにあまりにも金がかかり過ぎることが50年前から変わらず堂々の1位であることから、この分野は絶対に進めていかなければならない問題で、優先度は極めて高いと考えるが、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 子育てにはお金がかかるというのはおっしゃるとおりで、今後の日本の少子化対策を踏まえて、子育てに係る費用は全部国費で持つていいのではないかという思いを私も持つており、町の予算に関しては、もちろん拡大できるところは拡大していきますけれども、既存の制度が変わってきて、その兼ね合いもあるものですから、その影響を検証しつつ、可能性を探るようにもう指示をしており、できる限り子育て世帯の負担をなくするようなことはやっていきたいと考えています。

質問 大物議員 なるべく早いタイミングで実行に移すことが重要と考えるが、いつぐらいま

でにやれたらという目測は持っているのか。

答弁 齊藤町長 来年度予算に反映できるものがあればしていきたいという思いは持っています。

山本 正行議員
(よいち未来)

コロナ禍における 経済対策について

質問 山本議員 政府は、ガソリンや電気やガス、食料品など生活必需品の価格が上昇する中、緊急に対応する必要があるとし、低所得世帯向けに1世帯当たり5万円を支給すると発表したが、以下伺いたい。

①低所得世帯は何世帯になり、給付金は幾らになるのか。

②低所得世帯以外にも給付金を支給する考えはないのか。

答弁 齊藤町長 ①対象世帯等詳細はまだ示されておらず、非課税世帯等臨時特別給付金と同様の考え方であれば、約3,700世帯、1億8,500万円程度になると見込まれます。

②町としては現時点で低所得世

帯以外に給付金を支給する考えはありませんが、今後も国の動向を注視してまいります。

共同墓の設置について

質問 山本議員 令和2年第3回定例会において一度質問をしてから2年が経過したが、現在の考え方を伺いたい。

答弁 齊藤町長 共同墓の検討に当たり現在他の自治体の調査を進めており、引き続き他の自治体の情報収集や調査を行うとともに、関係機関や団体からのご意見を伺いながら検討します。

中学校における部活動 の地域移行について

質問 山本議員 文化庁の有識者会議では部活を教員の長時間労働の要因と指摘し、地域団体に委ねるべきとの提言が発表されており、本町では、教職員が児童生徒と向き合う時間を十分に確保できるよう余市町立学校における働き方改革アクション・プランをしっかりと機能させ、労働条件改善に向けて取り組んでいると思うが、以下伺いたい。

①アクション・プランの進捗状況について。

一 般 質 問

②今後の部活動における休日指導について。

答弁 前坂教育長 ①令和3年2月に第2次余市町立学校における働き方改革アクション・プランと教職員の時間外勤務短縮及び休暇取得促進等に関する方針を策定しており、月45時間以上を超過した延べ人数の割合は減少傾向を示しています。

②現在移行に向け準備を進めており、具体的な取組として、アンケート調査を含め中学校や体育連盟など社会教育団体と協議を精力的に行うとともに、道教委のアドバイザー制度を活用し、関係者対象の説明会を開催するなど実態把握や意見、要望の聴取等に努めており、今後も円滑な地域移行に向け取組を強化します。

安久莊一郎 議員 (日本共産党議員団)

加齢による難聴者への補聴器助成について

質問 安久議員 加齢性難聴で苦しむ人は高齢化が進むとともに増加し、一般に高齢者の約半

数が難聴とされるため、本町では3,600人余の高齢者が難聴と考えられるが、町民からも加齢性難聴者の補聴器購入に助成を求める署名運動が起き、532筆の賛同が寄せられ、町長に手渡されており、難聴者を早期に発見するための聴力検査などを行うことについて伺いたい。

答弁 齊藤町長 後期高齢者医療加入者の特定健診では、生活習慣病の発症、重症化予防が目的のため、健診項目に聴力検査は含まれておらず、今後導入する予定はありません。

質問 安久議員 自治体における難聴高齢者を把握する取組の実態把握を目的に行われた調査では、難聴高齢者把握の取組が遅れている各自自治体の課題が明らかになり、自治体の取組の強化が求められていることから、早期に難聴者を発見する聴力検査を行うべきではないか。

答弁 齊藤町長 国で一律に制度を設計すべきものと考えます。

質問 安久議員 補聴器利用で生き生きと暮らせる人々がいる中で、本町に暮らす高齢者が補聴器によって明るく暮らす姿を実現するべきではないか。

答弁 齊藤町長 町民から532筆の署名があり、要望として

は受け止めています。身体障がい者手帳をお持ちでない方に対する支援は、国で一律に制度を設計すべきものと考えます。

質問 安久議員 町民の込められた願いを重く受け止め、町民が豊かに過ごせるようにするべきではないか。

答弁 齊藤町長 支援を要請するのであれば、予算規模など踏み込んだ提案をしていただきたいと考えます。

質問 安久議員 財政的に検討するためにも、まず実態を調べなければ、手だても取れないの

中谷 栄利 議員 (日本共産党議員団)

余市町公共施設の在り方の検討について

質問 中谷議員 公共施設再編の計画期間を令和4年から令和27年としているが、次の事項を伺いたい。

- ①自治基本条例に基づき住民を主体者として住民参加の計画づくりを進めることについて。
- ②抜本的な見直しに分類されても存続の可能性を検討すること

ではないか。

答弁 齊藤町長 実態が分からないのであれば、そこまで需要がないと判断せざるを得ませんし、調査に関しても国で制度設計を行うべきという方針です。

質問 安久議員 一部では、介護予防のチェック項目の中に聞こえに関する項目を設定している自治体もあり、本町でも検討するべきではないか。

答弁 齊藤町長 チェック項目も国の指針に基づき決めていきます。

質問 齊藤町長 ①町民アンケートやまちづくり協議会における議論等により町民から公共施設に関するご意見をいただき、施設ごとの管理運営方針を示しており、今後具体的な議論については、一体的な協議会等を組織するのではなく、各施設ごとに利用者をはじめ、町民との調整、協議が必要と考えます。

②存続の可能性の検討については、施設そのものの存続ではなく、その機能の存続を含め、他の施設との統合、複合化など様々な検討、協議を進めます。

質問 中谷議員 ①今総務省が進めようとする一律な築年数や

面積に応じ利用者を割り返す見直しではなく、利用者の立場に立った話し合いが重要で、徹底した情報公開が必要であり、自治基本条例が基本になると考えるが、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 ①自治基本条例があるうがなろうが我々は住民から意見を吸い上げており、各施設の利用者との意見交換などはするつもりであり、さらに都市再生協議会で町民を公募しているため、そこで有識者と議論する場も提供されます。

質問 中谷議員 ①町が住民との協働を理念として進め方を体系化して条例にし、町の基本指針としたものが自治基本条例であり、そこを町長があつてもなからうがという扱いではうまくないと考えるが、自治基本条例に基づく町民との協働、情報公開の徹底などをどのように進めていくのか、その手法が今後問われるのではないか。

答弁 齊藤町長 ①町民の話を聞き、対話をする体制は整えています。

質問 中谷議員 ②抜本の見直しの対象となった西中学校やあけぼのプールについて、今後真摯な話し合いにどのような考え、立場で当たるのか伺いたい。

答弁 齊藤町長 ②教育施設の

一 般 質 問

統廃合問題は教育委員会所管で別途委員会が立ち上がっており、そこで議論されます。

寺田 進議員 (公明党)

土砂災害警戒区域の災害対策、防災計画について

質問 寺田議員 北海道土砂災害情報システムによると町内には56か所の土砂災害警戒区域と44か所の土砂災害特別警戒区域があるが、次の事項を伺いたい。
①56か所以外の危険箇所と、56か所の対策工事、国、道との連携状況について。
②災害の前兆現象の情報共有及び避難指示等の徹底はどのようにされるのか。
③減災に大きな役割を担う自助、共助の防災意識の高揚について、どのような計画を立てているか。
答弁 齊藤町長 ①道が指定したもので、現在これ以外にはなく、道が沢町の一部の対策工事に向けた事業を進めており、引き続き国、道へ働きかけます。
②災害要因に合わせパトロール班を設置、調査し、広報車、町

公式ライン、区会へのチラシ配布などで避難指示等を行います。
③防災に関する町民講座や防災学習会に積極的に取り組みます。

質問 寺田議員 ①新しく民間住宅地近くで行っている工事が進んでいないようだが、なぜか。
答弁 齊藤町長 ①対策工事は道が進めており、国や道に働きかけていますが、細かな点は担当から調べるようにいたします。

質問 寺田議員 ①土砂災害警戒区域の町民の質問に対し、優先度の高い箇所から順次工事を進めると回答されたと聞かすが、優先度とはどういうことか。
答弁 齊藤町長 ①優先度は道が判断しており、道から回答をもらうよう伝えます。

質問 寺田議員 ②町民からスマホ等で画像など様々な情報を受け、素早く発信するようなシステムの導入について。
答弁 齊藤町長 ②現在人で事足りており、DXはコストと人件費のバランスと考えます。

質問 寺田議員 ③区会にはなかなか伝わっていないのが事実と考えるが、町の認識について。
答弁 齊藤町長 ③日頃から様々な情報提供、交換をしております、今後も積極的に行います。

質問 寺田議員 ③地域連絡員制度で防災について区会に積極的に伝えるのが大事ではないか。
答弁 齊藤町長 ③地域連絡員制度については町政懇談会で改めて区会に伝えます。

質問 寺田議員 ③防災行動のタイムラインのスマホアプリを配信する取組を進めてはどうか。
答弁 齊藤町長 ③予算との兼ね合いになると考えます。

白川栄美子 議員 (公明党)

1、2期目の町長のまじゅくQ&A町民要望105件

質問 白川議員 2期目に向かって何を重点にまちづくりに取り組むのか伺いたい。

答弁 齊藤町長 子育て支援、教育の充実、余市ブランド向上、ふるさと納税の増加等、取組を行い、町営斎場問題の解決、道の駅再編整備、役場庁舎の移転検討などを進め、役場の機構改革、若手職員の教育強化、広域連携による効率的な自治体運営に努めます。

質問 白川議員 若手職員の教育強化はどのように進めているのか伺いたい。

答弁 齊藤町長 ふだんなら会えない方々と積極的に交流機会を持たせ、その知見や経験を吸収する機会を与えており、また外部の民間企業、他の自治体との交流も成長のために重要なので、私に同行させて経験を積ませ、若手職員の知見拡大を図っています。

質問 白川議員 1人目が保育所に通う中で保護者が産後の休暇に入った場合、保育所に通わせてもらえないのはなぜか。
答弁 齊藤町長 現時点では、町の規則に定め基準に基づき行っています。

質問 白川議員 出産後は精神的苦痛や体力の限界もあることから、上の子の預かり対応を受け入れるべきではないか。
答弁 齊藤町長 規則に基づき、親がいる場合は一律的に駄目だというのが合理性がなく、状況に応じて変えていけばいい話なので、担当課に伝えます。

質問 白川議員 高齢者の免許返納について、買物や病院に行くのが困難になるため返納できないとの声もあるが、どのような対策を考えているのか。
答弁 齊藤町長 公共交通空白地域の解消について、本年度より輸送方法の選定及び具体的な運行内容を検討しています。

質問 白川議員 タクシーチケットがあれば楽なのだという話もあるが、見解を伺いたい。
答弁 齊藤町長 すぐに導入とはなりません、公共交通について何が効率的か庁内で検討するとともに、有識者も踏まえながら検討しています。

質問 白川議員 新規で漁業をやりたい方への町の独自の支援はあるのか伺いたい。
答弁 齊藤町長 漁業の新規就業は一元的に漁業協同組合が対応すべきと考えており、様々な場面で町として協力しています。

議会のホームページはこちら

<http://www.town.yoichi.hokkaido.jp/gikai/index.html>

議会のホームページを随時更新し、情報発信に努めています。

余市町議会

検索

行政報告

道の駅再編整備について

【令和4年9月26日開催第3回定例会】

道の駅再編整備については、道の駅の再編・余市IC周辺地域の活性化に係る官民連携事業調査業務により適地選定を行い、後志自動車道余市インターチェンジから約300メートルに位置し、一般道道753号余市登停車場線に接する、約4.8ヘクタールの区域を最適地として、これまで土質調査、埋蔵文化財の調査を実施しています。

本年2月に策定した官民協働による「新たな道の駅」を核とする交流拠点施設基本構想では、官民連携による事業化が財政支出を抑える方式として有利であるとされ、当該区域を整備候補地として、広く民間提案を募集し実施してまいりたいと考えています。

議会日誌

8月

- 22日 登別市議会行政視察来訪
- 24日 後志町村議会議長会議員研修会
- 25日 議会運営委員会
- 28日 余市町議会議員補欠選挙選挙会

9月

- 2日 産業建設常任委員会
- 5日 後志町村議会議長会役員会
- 8日 民生環境常任委員会
- 12日 総務文教常任委員会
- 13日 議会運営委員会
- 21日 議会運営委員会
- 26～28日 第3回定例会
- 26日 民生環境常任委員会
- 27日 議会運営委員会
- 28日 水道事業会計決算特別委員会
- 30日 北後志町村議会議長会臨時総会

10月

- 3日 後志町村議会議長会臨時総会
- 4日 北海道町村議会議長会会計監査
- 7日 議会運営委員会
- 11日 宮城県栗原市議会行政視察来訪
- 18日 総務文教常任委員会

- 19～21日 北後志町村議会議長会研修視察
- 20日 民生環境常任委員会
- 24日 産業建設常任委員会
- 25日 北しりべし廃棄物処理広域連合議会
- 26日 議会運営委員会
- 26日 後志教育研修センター組合議会
- 26日 東京都昭島市議会行政視察来訪
- 27日 三重県松阪市議会行政視察来訪

11月

- 1日 長野県伊那市議会行政視察来訪
- 2日 議会運営委員会
- 4日 第3回臨時会
- 4日 議員協議会
- 4日 各会計決算特別委員会
- 7～9日 後志町村議会議長会行政視察
- 9日 全国町村議会議長大会
- 9日 後志町村議会議長会臨時総会
- 10日 北海道横断自動車道中央要望
- 15日 民生環境常任委員会
- 16日 産業建設常任委員会
- 17日 総務文教常任委員会

編集後記

昨今の社会情勢を見ると、世界的な原材料価格の上昇、ロシアによるウクライナ侵攻、急速な円安など、様々な要因による物価上昇により家計に大きな影響を及ぼしています。

国は物価高騰の対策として様々な政策を打ち出していますが、本格的な冬が近づき、特に北海道では暖房費がかさむことから家計に与える影響はますます大きなものになると考えられます。

また、北朝鮮からの度重なるミサイルの発射や、いまだに収束を見ない新型コロナウイルス感染症の蔓延など、予断を許さない出来事が多々ある中、議会としては町民の皆様の実現の未来のため、町民皆様と一体となって取り組みたいと考えており、ご意見、ご要望をお寄せいただければ幸いです。

今回の議会だよりでは、9月に開催の第3回定例会での各議員の一般質問、審議内容、また8月に行われた議員補欠選挙による新しい議員の紹介、11月に開催の第3回臨時会での審議内容を掲載していますが、紙面の関係上要約した編集内容となっていることから、議会を身近に感じていただくためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

総務文教常任委員会
委員 近藤 徹 哉

よいち町議会だより

No205 (年4回発行)

令和4年12月1日発行

発行 余市町議会
編集 総務文教常任委員会

〒046-8546 北海道余市郡余市町朝日町26番地
TEL 0135-21-2132
FAX 0135-21-2144
E-mail giji.gki@town.yoichi.hokkaido.jp